

# 令和2年度第5回中仙地域協議会会議録

令和3年2月10日

中仙地域協議会

## 令和2年度第5回中仙地域協議会会議録目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| ■開催日時                  | 1  |
| ■開催場所                  | 1  |
| ■出席委員                  | 1  |
| ■欠席委員                  | 1  |
| ■出席職員                  | 1  |
| ■次第                    | 1  |
| ■開会                    | 2  |
| ■会長あいさつ                | 2  |
| ■支所長あいさつ               | 2  |
| ■会議録署名委員の指名            | 4  |
| ■協議                    | 4  |
| (1) 中仙地域魅力発信拠点の整備について  | 4  |
| ■報告                    | 7  |
| (1) 令和2年度地域枠予算活用事業について | 7  |
| (2) 中仙支所各課所管の事務事業等について | 7  |
| ■その他                   | 8  |
| ■閉会                    | 11 |
| ■署名                    | 11 |

■開催日時：令和3年2月10日（水曜日）午後2時

■開催場所：中仙市民会館ドンパル 2階研修室A・B

■出席委員： 10名

伊藤 悟、遠藤 まき、熊谷 壽男、小松 京子、小松 正樹、  
今野 貴美子、佐川 晃、高橋 和政、高橋 朝夫、三浦 和則

■欠席委員： 5名

高橋 強、高橋 トモ子、田口 馨、傳農 百合子、富岡 喜榮、

■出席職員：10名

|                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 今 和則（中仙支所長兼地域活性化推進室長） | 鈴木 真紀子（市民サービス課長）     |
| 大阪 文博（農林建設課長）         | 高橋 千秋（中仙公民館長）        |
| 新山 待子（市民サービス課参事）      | 藤原 喜文（農林建設課参事）       |
| 小田嶋 香代子（農林建設課参事）      | 藤木 健太（健康増進センター東部保健師） |
| 長谷川 祐城（地域活性化推進室副主幹）   | 門脇 友梨華（地域活性化推進室主事）   |

■次第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
  - (1) 道の駅に関するアンケートについて
- 6 報告
  - (1) 令和2年度地域予算活用事業について
  - (2) 中仙支所各課所管の事務事業等について
- 7 その他
  - (1) 「大仙市健幸まちづくりプロジェクト」への参加について
- 8 閉 会

---

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 開会を宣言

○高橋朝夫中仙地域協議会長 (以下「会長」と表記)

ご覧のとおり、今年は大変な雪の量で、朝から私もですけど皆さん雪よせでお疲れのことと思います。このあと雪が緩んでくると私の家は雪が走りやすくできておまして、帰ったらまた雪よせという、朝から晩まで雪よせという形で暮らしておりますが、おそらく皆さんも同じようなものでないかと思えます。昨日のニュースで県の方でも除雪の補正予算を組んだということで、この後支所長のあいさつでも、大仙市の方でもそうだという話が出るかもしれません。横手などに比べれば大仙市はいくらかいいかなとは思いますが、やはり去年の分にあわせて降ったのではないかというくらいの降雪量だと思うところであります。

今日の議題は、皆さんに配布しているもので進めてまいります、道の駅のアンケート調査、これから新年度一年間かけて実施していきたい意向のようですので、審議の程よろしく願いいたします。簡単ですがあいさつとさせていただきます。

○今支所長 (以下「支所長」と表記)

本日は、お忙しい中、「令和 2 年度第 5 回中仙地域協議会」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃より市民と行政との協働によるまちづくりを推進する中核としてご理解、ご協力をいただいております、改めて厚く御礼を申し上げます。

この場をお借りしまして、市の諸般の状況についてご報告いたします。

初めに、今冬の記録的豪雪による被害状況などについてであります。初雪は昨年 1 2 月 1 4 日と平年より遅かったものの、その後連日のように降り続き、年明けの 1 月 5 日には、積雪深が大曲地域の観測所で平年の 3. 6 倍となる 1 6 6 c m を観測しております。

中仙地域の積雪状況は、大曲地域で最大積雪を記録した 1 月 5 日時点では大曲地域より 7 0 c m 程少ない 9 5 c m と 1 月末までは比較的少なく経過しております。2 月に入りまして、3 日から 5 日までの 3 日間の累計降雪量が 7 4 c m に及び、さらに昨日からの降雪により、本日中仙地域の今シーズン最大積雪となる 1 2 5 c m を観測しております。明日以降、冬型が緩み気温も上昇する予報となっておりますが、過去の豪雪年のケースでは、2 月中旬から 3 月にかけて雪の量が多くなっておりますので、今後も引き続き注意してまいります。

この豪雪によりまして、大仙市では 4 人の方が雪害によりお亡くなりになったほか、重傷の方が 1 8 人、軽傷 1 4 人の人的被害が発生しております。このほか主な雪害としましては、住家の全壊が 4 棟、一部損壊 5 6 棟、非住家においては 4 4 棟が被害に遭われています。

農業被害としては、水稻育苗用パイプハウス 2 6 0 棟、園芸用パイプハウス 9 0 棟、畜舎 8 棟、農機具格納庫など 2 6 棟で、合計 3 8 4 棟が被害に遭っております。このうち中仙地域の雪害は、人的被害として重傷者 2 人のほか、建物被害としては住家被害 (一部損壊) 3 棟、非住家 2 棟 (一部損壊)、農業パイプハウス 1 7 棟となっております。

市の豪雪へ対応としましては、12月25日の降雪予報を踏まえて「雪害警戒対策室」を設置し、情報収集と雪害防止の注意喚起に努めるとともに、年末年始の期間、市民の皆様への対応と警戒体制をとっております。更に、年明けの1月4日には、その後の大雪が見込まれたことから「豪雪対策本部」に組織を格上げして、道路の除排雪の体制強化や高齢者宅等の雪下ろし、雪害事故防止のための注意喚起など全庁体制で対応に当たっております。

また、1月7日には本市に今回の豪雪による災害救助法が適用されております。これに伴い、市では一人暮らしの高齢者世帯など状況を緊急に調査し、危険がある42世帯について、雪下ろしと除排雪作業を実施しております。中仙地域では8世帯を緊急調査して、危険がある2世帯の雪下ろしを実施しております。

このほか職員による取り組みとしましては、歩行者の安全を確保するよう、延べ約350人の職員が2日にわたり通学路などの歩道の拡幅や段差解消、交差点の視界確保などを実施しております。更に、社会福祉協議会と共同で、延べ81人の市職員が、豪雪により生活に支障をきたしている世帯の高齢者宅の除排雪作業に従事しております。

先日、2月9日には、市議会臨時会において、雪対策事業等の追加措置や緊急除雪関連経費等について可決されております。これら追加となる雪対策事業等につきまして、市民の皆様にも周知して実施するとともに、引き続き雪対策に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染症につきましては、全国的に拡大が続いており、現在、10都府県で緊急事態宣言が出されており、県内でもクラスターの発生が確認されたことから、県が定める感染状況に応じた「警戒レベル」を、1月18日にレベル2から強い注意喚起を要請するレベル3に引き上げられています。大仙市でも1月20日に、新たに3人の感染が確認され、累計で9件の感染が確認されております。

市では、随時、感染状況に応じて「新型コロナウイルス総合対策本部会議」を開催して対応等を協議・検討しております。現在は、感染予防策の徹底と緊急事態宣言が発令されている地域との往来は避けるなどの対応について呼びかけしております。今後とも「ウィズコロナ」あるいは「アフターコロナ」を念頭に置きながら、市民の皆様の危機意識と予防行動のもと、感染防止対策に万全を期してまいります。

感染拡大防止対策と「政策の両輪」とも言える経済対策には、市民の皆様や事業者、関係団体の皆様のお声をお聞きしながら市内経済の現状を把握するとともに、今後の動向を見極めつつ、新たな社会的要請を組み合わせる形で、積極的に取組を進めていく方針としております。2月9日の市議会臨時会において、飲食店応援給付金の追加給付等の新型コロナウイルス経済対策費の補正予算が議決されております。引き続き、市民の皆様の雇用と暮らしを守り、地域経済の回復に資する対策に取り組んでまいります。

そして、新型コロナウイルス感染症対策の重要な施策でありますワクチン接種につきましては、市ではワクチン接種を円滑に実施するため、大仙市健康福祉会館健康増進センター内に「コロナワクチン対策室」（市職員7人、会計年度任用職員1人計8人体制）を2月1日に開設し、4月1日以降に予定されている65歳以上の方（約30,000人）への接種開始に向けて、準備態勢を整える取り組みをしております。今後は、3月中旬以降、65歳以上高

齢者に接種券(クーポン券)を発送し、今後発表される国の方針に基づき、全市民に接種券を送付できるように準備を進めていくこととしております。

最後となりますが、市では、市民の皆様がいきいきと活躍し、幸せな毎日を送るために必要な健康づくりを応援し、「人」と「地域」が元気になる新たな取組として、昨年10月より「健幸まちづくりプロジェクト」をスタートしております。

このプロジェクトは、市とタニタグループで締結した協定に基づき実施するもので、全市民を対象とした大規模なヘルスケア事業として国内初となる取組であります。このプロジェクトで行われるプログラムは、「歩く」ことを基本に、子どもからお年寄りまで誰もが無理なく、自分のペースで楽しみながら健康づくりができる内容となっております。今般のコロナ禍においても安心して取り組むことができ、市民の皆様の健康意識の醸成に大きく寄与するものと期待しております。

参加者には活動量計を携帯していただき、血圧計や体組成計等が配置された市内の「健幸スポット」において健康状態を測定していただく仕組みとしており、タニタグループの全面的なサポートのもと実施しております。現在の参加者は約9,000人となっております。3月下旬からは小・中学生に活動量計を配布する予定としております。

また、健康スポットは市内で27カ所となっておりますが、更に市内の全郵便局29カ所にも設置するなど健康スポットの増加を図っております。参加者には、活動等に応じてポイントが付与されることになり、獲得ポイントの上位1,000名の方には、市の特産品が贈呈されることになっておりますので、まだ参加されていない方がおられましたら、是非ご参加いただきたいと思います。このプロジェクトの詳細については、このあと担当より説明がありますので、どうかよろしく願いいたします。

さて、本日の案件は、「①道の駅に関するアンケート調査について」、「②令和2年度地域枠予算活用事業について」、「③中仙支所各課所管の事務事業等について」の3件です。委員の皆様には、忌憚の無いご意見を賜りますようお願いいたします。

地域協議会の皆様と協働により、中仙地域が抱えている課題の解消に向けて、そして地域がさらに元気になるように、地域活性化策に取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

○**会長** それでは次第4の「会議録署名委員の指名」に入ります。中仙地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。今回は熊谷壽男委員、小松京子委員をお願いいたします。

それでは次第5「協議」に入ります。はじめに「(1)道の駅に関するアンケート調査について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

#### ○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありました。皆さんにご協議をお願いしたいと思います。

○三浦和則委員 設問（５）の「よく行く、行きたい道の駅」の項目のうち、市内（中仙・神岡・協和）というのはわかるのですが、県内、県外のみ項目だとどこの道の駅に行きたいのかということがわからなく、アンケートで求めるものとしては具体的な名称が知りたいと思うので、自由記述欄で道の駅の名前を書く欄を設けたら良いと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

県内、県外のあとに自由記述ということ形で設定したいと思います。

○会長 他にいかがでしょうか。資料１－１の方の目的等に関するものでも意見、質問ありましたらお願いします。

○三浦和則委員 質問ですが、調査方法は地域枠予算を使うものと、個別事業評価を利用するものがありますが、推奨するものはどちらというものはあるのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

調査する項目に変わりはないものと考えているのですが、私共としては経費的な部分も考えまして総合政策課のアンケートに載せさせていただいた方がよろしいのかなと考えておりますが、そちらの方のテーマの選定から我々から提案したテーマが漏れてしまった場合はやむを得ず地域枠予算を活用して実施することとして、まずは案１のほうで進めていきたいと考えております。

○今野貴美子委員 設問（３）利用目的、設問（４）期待すること、改善してほしいこと、設問（６）よく行く、行きたい道の駅を選んだ理由の質問事項について複数選択可となっておりますが、期待すること・改善してほしいことの質問は特にほとんど全て選びたいということにならないでしょうか。全てにチェックしてもいいものでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

利用者それぞれが様々な理由で道の駅を利用しているものと思い、複数選択としました。選択できる数については検討いたします。

○会長 他にございませんか。

○伊藤悟委員 調査対象を１，０００人としていますが、半分以下しか回答がこなくても

集計するものですか。

○事務局（地域活性化推進室）

総合政策課のアンケートは毎年1,000人を無作為抽出して実施しておりますが、返信用封筒を同封して調査票をお送りして送り返してもらうという形で行っており、およそ回収率40%前後ということになってきますが、数年前からリマインダーはがきを送付して重ねて提出をお願いする方法をとったところ、60%以上の回答率になっております。

○伊藤悟委員 事務局としては回収期待率をどのくらいで見込んでいるのですか。

○事務局（地域活性化推進室）

統計学的な考え方でいくと市民を対象として考えると8万人という母集団があるなかでどれくらいのサンプルがとれば確からしいといえるのかというものがあまして、400人弱くらいのサンプルが抽出できれば、誤差範囲5%程度を許容できるのであれば確からしい答えが出るということのようでした。通常こういったアンケートをとる場合5%を許容するのが通例のようでして、まず40%を超える結果が集まれば、ある程度信頼できる数値が得られると考えております。総合政策課の市民評価と同じようなパターンでリマインダーはがきも出してとなれば、回収率60%を超える結果が出ているようなので、総合政策課の選別から漏れてしまった場合はご相談したいと思います。

○伊藤悟委員 事務局では半分しか回収率を見ていないということですか。

○事務局（地域活性化推進室）

市民評価という前例がありましたので、そのやり方を踏襲すると統計学上も信頼できる数値を得られるということですので、それをベースにして検討していきたいと思います。

○遠藤まき委員 調査対象を18歳以上としていますが、18歳から何歳までとか、割合はどのくらいでというのも決まっているのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

市民全体の年代と性別と地域の比率により、偏りの無いよう比率に応じた抽出をかけるというようになっています。

○会長 他にご意見、ご質問等ありませんか。

○小松正樹委員 道の駅の円満蔵翁の人形ですが、県外の方から2度ほど、米俵に、食べ物に座るといのはおかしいのではないかと言われたことがありました。あれを変えらるとなるとかなりお金がかかるというのはわかっていますが未だに変わっていない。アンケート



トとは関係ありませんけれども違和感を感じますので、今どのように話を進めているのかは知りませんが、そういう話が出たことがあるということをお伝えします。

○鈴木市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

今野さんはそういった話を聞いたことがありますか。

○今野貴美子委員　かなり前にありましたけど、それでは変えましょうという話にはならなかったと思います。円満造さんが米俵を担ぐとか座らないような意見がありました。

○佐川晃委員

まずはアンケートの内容を決めてから、今の話をしていってもいいのではないですか。意見を言ってもらっている小松委員には申し訳ないですが、こういう会を開いているわけですから順番に話していくようにしてはいかがでしょうか。

○会長　他にアンケート関係のところでは他にご意見、ご質問等ありませんか。

（なし）

他にないようですので、「（1）道の駅に関するアンケート調査について」の協議を終わります。

続きまして次第6「報告」に入りたいと思います。「（1）令和2年度地域枠予算活用事業について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長　ありがとうございました。ただいま事務局から説明ありました。これに関して質問、意見などございますか。

（なし）

ないようですので次の報告に移ります。

それでは「（2）中仙支所各課所管の事務事業等について」、担当各課から説明をお願いします。

○支所長

市民サービス課長

大阪農林建設課課長（以下「農林建設課長」と表記）

高橋中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま各課から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

○遠藤まき委員 市民サービス課の放課後児童クラブについてですが、登録が95名で定員が70名となっていて定員より多くなっていますが、これについて対策は立てているのですか。

○市民サービス課長 登録95名となってはいますが、実際に利用しているのは65名程度になっています。このようになっている理由としては冬休み、夏休みに利用したいということで登録している方もいらっしゃるようです。ただ今後の予定として、豊岡、豊川のほうに新設の児童クラブ創設の話が出ているところであります。

○会長 ありがとうございます。ほかにございせんか。

(なし)

ないようですので、次第6を終わらせていただきます。

それでは次第7「その他」の「(1)大仙市健幸まちづくりプロジェクトへの参加」について担当課から説明をお願いします。

#### ○藤木健康増進センター東部保健師（以下「健康増進センター東部保健師」と表記）

大仙市健康増進センター東部保健師の藤木と申します。よろしく申し上げます。皆さんにお配りしているカラーのチラシをご覧になりながらお話しさせていただければと思います。支所長が冒頭で概要を説明させていただきましたけれども、歩く事を基本に子どもからお年寄りまで無理なく続けられるプログラムということで、簡単にいうといっぱい歩いて大仙市まるごと健康になろうという企画になっております。

このプロジェクトは大仙市民全員と大仙市以外でも大仙市で仕事をしている方であれば対象となる事業となっております。お申込はネットや郵送、市役所窓口でできます。カラーのチラシを開きますと中に参加申込書になっておりまして、こちら切り取っていただいて郵送することも可能ですし、市役所の窓口にもってきていただいても、そのままこちらで受付できますので、いつでも気軽に申し込んでいただきたいと思います。申し込みますと活動量計というものがご自宅に2週間以内に郵送で届くようになっております。すぐに利用できるように皆さんのお名前が箱についておりまして、すぐに出して使えるように電池も入れた状態になっておりますので、こちらを持ち歩いていただいて、歩いた歩数、時間、消費カロリーが一目で分かる優れものになっております。いっぱい歩きましたら市内27箇所の健幸スポットへ足を運んでいただきたいと思っております。がんばって歩いた歩数データを送信したり、血圧や体重、体脂肪率を量ったりすることができます。こちらの健幸スポットは市役所や公民館27箇所ということになっておりますが、現在中仙支所やドンパルにも設置されていますので是非利用していただきたいと思っております。先ほど支所長もお

話していましたが、郵便局にも順次設置されていく予定でありまして、こちらもドンパルや中仙支所にあるものは靴下を脱いで計るものになっておりまして、正確な数字が出やすい計り方になります。中仙郵便局にすでに設置されているようですけれども、そちらについては靴下を履いたままご利用できる体組成計になっておりますので、裸足で計るよりも正確な数字が出にくいかと思いますが是非利用していただきたいと思います。

こちらの健幸スポットで測定されたデータは専用サイトからだカルテで確認できます。中仙支所にはプリンタも設置しておりますので健康増進センターや職員にお声がけくださればいつでも細かく分かる紙をお出しして、健康相談も随時行っておりますのでご利用いただきたいと思います。1日にどのくらい歩いているかというものをもしかしたら皆さん携帯などで確認されているかと思いきれども、活動量計でも確認できますし、歩数を増やそうというのであれば、1日10分プラスして歩いていただくと死亡、生活習慣病、ガンリスクを3%から4%減らせるということが研究で分かっております。10分歩くと大体1,000歩くらいになるといわれていますので、現在冬ですけれども家の中で10分足踏みだったり階段を利用した踏み台昇降のようなものだったりもおすすめしておりますのでぜひご利用いただきたいです。プロジェクトによって市民の皆様が幸せに暮らせる日本一健康なまちを目指しておりますので皆様の積極的な参加と家族や友人などお知り合いの方への参加呼びかけをご協力いただきたいと思います。

○会長 ありがとうございます。プロジェクトについてですが、このほかにも各課、委員の皆さん何かございませんか。

○小松京子委員 こちらの活動量計ずっと前から使っていますけれど、いま冬に家で家事をしているだけではせいぜい2,300歩にしかならないです。今話しを聞くと10分で1000歩というのは簡単なようできないのかなと思います。少し聞いた話だと地域で集まって歩こうというようなイベントが開催されるということも聞きますし、そういうイベントに参加できればと思います。

#### ○健康増進センター東部保健師

今おっしゃられたとおり、お得感というものがなかったり、みんなで歩く機会というのがなかったりということで、個人で頑張るというのもコロナの中でできるというのは強みではありますけれども、一人でやるのが頑張りづらいということもあると思います。今年度は10月という年度途中から始まったことで、まずはポイントの獲得上位1,000名に今年は景品を渡すということで決まっています、3月に確定になるのですが、3月末になりますとポイントが一度リセットになります。また4月1日からポイントを貯め始めることとなりますが、来年は上位ということではなく、貯めたポイントに応じて交換できるものであるとか皆さんにお渡しできるものかと考えているようでした。また、皆さんで歩く機会ということですが、今年度はコロナの関係で大勢を集めてのイベントということができませんでしたが、来年度コロナの状況に応じてはなりますが、皆さんの活動量計を使っ

た歩く機会という企画を計画しているようでしたので、そのときは情報を発信していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○遠藤まき委員 最初の頃データをコンビニで送信するという文面だったのでやらないでいたのですが、後々聞いたら役場に置いてあったのでやってみました。ついこの間郵便局でも設置を始めたということで、年をとるとコンビニに行き操作するというのは手順が難しいので、最寄りの場所で置けばいいだけという簡単なものだったのでそれは良かったかなと思いました。

#### ○健康増進センター東部保健師

先ほどお伝えし忘れてしまったのですが、全国のローソン、ミニストップにあります、L o p p i 端末でも書かれています、機械に乗せるだけでも通信は可能ですけれども支所であったり、ドンパルにあります白い機械に乗せていただくだけでも送信が可能ですので、立ち寄った際に送信だけであれば10秒程度ですみますので測定をしなくてもデータ送信だけでもお立ち寄りいただければと思います。

○会長 ちなみに興味だけで皆さんに聞きますけれども、遠藤さんと小松さんは持っていらっしゃるのですか。他にも持っていらっしゃる方はいらっしゃいますか。実は私も持ってなくて、今初めて聞いたものです。昔職場の共済組合で万歩計なんかをもらったりする機会がありました。それも2、3年すると不携帯になってしまいました。

○遠藤まき委員 夜、12時になると1日の歩数がリセットになります。私はお風呂に入る時以外はずっとつけています。

○会長 健康のために歩くのはいいということですし、何かしら皆さん個人的に健康のために考えていらっしゃると思いますが、もしよかったら申請してもらえたらいいなと私自身を含めて思います。ありがとうございます。他になにか全部まとめて各課、委員の皆さんからご意見、ご質問等ありますか。

○市民サービス課長 先ほどの円満造さんの米俵の件ですけれども、今後意見箱の活用といたしまして、そのようなものに口頭のみ意見ではなく、書き物として残すことで今後の改善に努めたいと思います。担当が替わればやはり口頭だけでは引き継げないものがありますので、意見箱に残るものとして今後改善の対象としていきたいと思っておりますのでどうかご理解をお願いいたします。

○小松正樹委員 設問として設けるとするならば、期待すること、改善するところの欄に含めてはどうかと思ったわけです。私が言った意見ではないですが、外から来た人がそう思うということがありますので、こうした意見は参考にしたほうがいいのではないかと

うことです。

○会長　それでは今、小松委員から提案のあったとおり、その他の欄に自由記述欄を設けるよう、よろしくお願いします。

ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、私のほうから一つご提案させていただきたいのですが、3月23日に予定している第6回地域協議会で、老松市長にご出席いただき、この活発に答弁しているところを見ていただきたいということでどうかと考えております。市のトップに意見を述べるというのも良いかと思えます。老松市長は直近で平成30年の10月に協議会に出席していただいているようです。ちょうど3月の下旬というと最後の議会も終えて、来年度の予算も決まっていると思えます。時間が許せばこちらの意見を言ったり、市長の意見を聞いたりする貴重な機会になると思えます。ご出席いただけるよう呼びかけしてもよろしいでしょうか。詳しい内容については事務局と秘書課にお願いして市長に来ていただくということでもよろしいでしょうか。

(なし)

それでは、事務局の方から市長のご出席について調整いただければと思いますのでよろしくお願いします。

ほかにございませんでしょうか。

(なし)

これで次第7「その他」を終わります。

以上で、本日の地域協議会で予定されておりました案件等の審議は終了となります。本日は、長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。これをもちまして令和2年度の第5回地域協議会を終了したいと思います。

皆さんお疲れさまでした。

(午後3時00分 閉会)

---

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_